



新編塵劫記三目錄

吉田光由編

第一 佛子たての事

第二 橋乃八百町申(刻)の事

第三 立木の事と橋の事

第四 町迄とらぬの事

第五 橋すゝまんの事

第六 ひあく一むの事

第七 日本國中男女を教む

第八 日本國中男女を教む

第九 日本佛堂(茶)の事

第十 布一端れそわの事

第十一 ぬねまの事

第十二 あやうの事

第十三 合衆を教む(用)の事

第十四 百六つん(用)の事

第十五 やら(用)の事

第十六 存(用)の事

第十七 六里(用)の事

第十八 三人(用)の事

第十九 百(用)の事

第二十 用(用)の事

第二十一 用(用)の事

第二十二 用(用)の事

第二十三 用(用)の事

第二十四 用(用)の事

▲まろ子まの
びりりあふ
りめわ若田の
美妙くはるく
かたさき手乃と
とふりひと書
きつたまをま
くさやりのま
あのみ

○子飛入の腹の
五十六の腹の子
さかしくせにあ
どのひよたあ
けたあ全のひや
一人あをあつ見
とまのあふく
あきまのああ
えんた腹の子ま
はあ一人あつ
まあをわありあ
おのまもまあ
あつくまああ
まああああ



修くはつてつ六
つ毛つとつてつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ

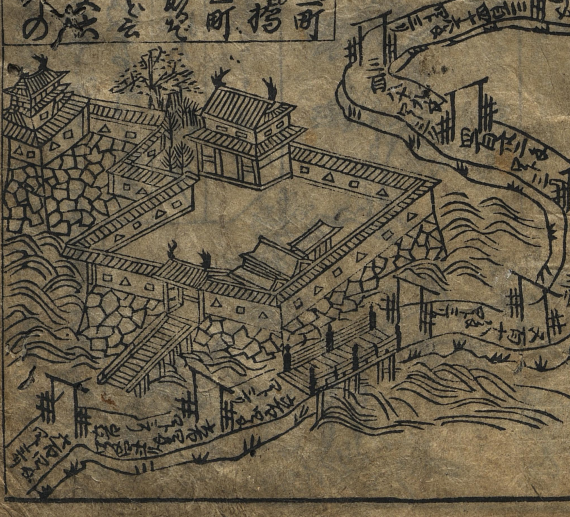
第ニ橋の
男目金目七
男目金目中
あつあつあ
橋のまあつ
まあつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ

一人あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ



修くはつてつ六
つ毛つとつてつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ

第ニ橋の
男目金目七
男目金目中
あつあつあ
橋のまあつ
まあつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ
あつあつあ



後らるは二日...
 一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

法三粒と今人乃...
 又、...
 一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

二万三千...
 一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

<p>十五万子二百牛 二里九町二間 一尺七寸三分七厘 甲方也、日名 十八百九 十一行甲子</p>	<p>以敷 女子六百 甲六海 千三百九 十九様七 十八百九</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>十六里三町 三万三尺三寸 九分七厘九 甲方也、日名 六千九百九</p>	<p>以敷 一科令百六 十口埃四千 四百令九系 六千九百九</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

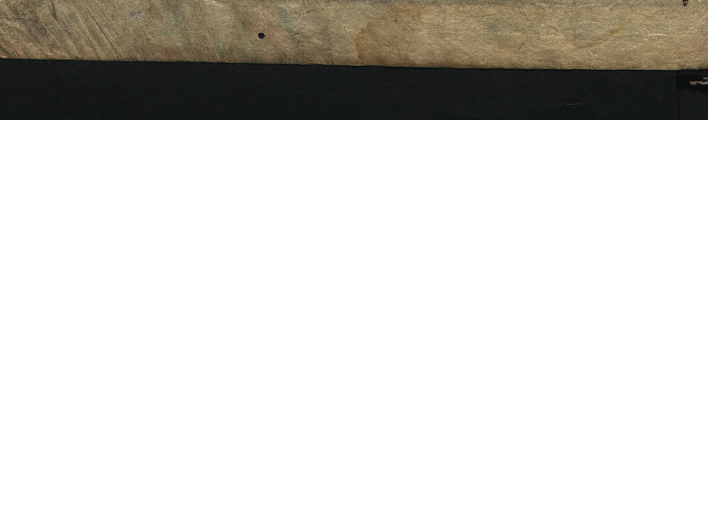
一町八十二
 二系六六百卒
 七兆六百七百三
 甲方六更
 六千粒也

うろくろく...
 四十...
 二万七千九百十二粒...
 一...
 二...
 三...
 四...
 五...
 六...
 七...
 八...
 九...
 十...

● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面
● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面
● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面
● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面
● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面	● 右 九寸四方六面 九寸四方六面

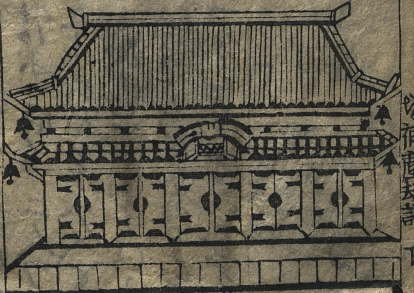
異朝ハ二百億
 とハ云フコト...
 又云ク上宮太子
 本朝ノ人民ノ粒
 右ノコト...

右ノ人...
 二万...
 八百...
 十町...
 九子...
 一...
 一...
 一...
 一...
 一...



日本...
 十三町...

内禮へそらんその
 介を夜下司云
 文未の代ノ天子
 その織を補せ
 らしむと也幸
 久しき事を後
 小田平次代ノ帝
 御野御いゆに
 弘基并ノ勅に
 まりて田島と金
 去尺四と一歩
 と一と百と千
 歩を一反と上
 回むるの早十二合
 乃申とびとる
 申下のお国六回
 ちを脚よはるし
 早くも産産は
 男多くとら
 ▲りくんとらん
 船のそめく
 の敷が敷浦敷



○大佛堂に
 未と今付らふ
 行入るとら
 七万七千石入
 とりて



第九 布一端乃をぬれ東長之漢度
 三里二所單三百二五
 布長二丈六尺一寸
 一尺五寸七寸系卒筋
 第九 布一端乃をぬれ東長之漢度
 九うくあて二羽ぬくも九百九
 九し急つて唱時合ていく番とし
 合九倍九十七百令合二九百九
 法九百九十九百九十九二二及留也

七志あわつ先地
 しきりしと
 一節を因まは
 毛と
 ▲布とをわを
 まあつたりて
 乃あつ
 ▲二つわめ
 本十番は七人八人
 ととて十人
 毛とわをのさ
 十五人
 さわわらう
 所とらう
 弟も乃あつ
 うさう
 二のじとさ
 ちうらた
 姉と云る八人
 十人
 及をまといあつ

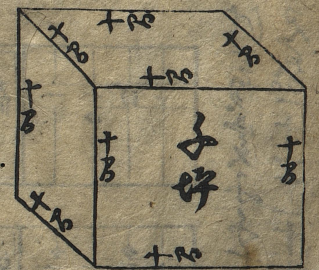


第十 二つわめと一
 ○さるぬと人橋乃下七道とせけら
 らけと八端乃己とれ七とんち七端
 びとれバうんあつらうさ
 ぬと人の較とぬれ較と知
 ぬと十六人
 法八んあてんとら
 毛とぬと人較と知

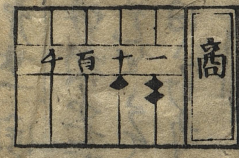


開法之事

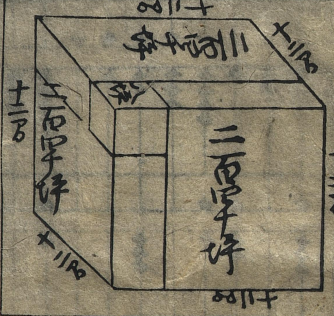
本書の如くは
 長短法の中
 也を以て物
 とせんが如
 と記す也
 ○実小車者六
 律と記すの
 一より二十
 と考して千
 一位小車は
 高より十と
 して字の上
 の形より
 多くと毎自
 子律の字を
 字の字より
 八律の字を
 高の字を
 云と云ふ
 十と云ふ
 十と云ふ
 十と云ふ
 十と云ふ
 十と云ふ



十と云ふ十の位也
 又下方に十と云
 是は高の十位也
 相法は下の方乃
 是は高の十位也
 又法は百と云
 二十と云ふは
 の十と云ふは
 字の字より
 七律八律実あり



九の四合七律也



高の中乃以二律
 二と云ふは
 法は下の方乃
 一と云ふは
 二と云ふは
 三と云ふは
 四と云ふは
 五と云ふは
 六と云ふは
 七と云ふは
 八と云ふは
 九と云ふは

社數三七

雨中圍碁

色赤似丹

人集如市



鐘音百八

人間福祿

深抽鬼志

俄企社參



校し夜中にも書いとて書目ふくむるの意候の事と歎くは
 ぬる三文字師也又花乃木まの枝に青書やく社殿に七とを
 ば花小ま文字の青く果のつゞき乃枝に花もくと書あは七と
 ぬることと書申し七の字入り目なりぬる三文字師也右の言れ指
 乃枝に青書いづく鐘音百八とさば花小ま文字の青く果
 づの枝に花もくと書あは七とぬる事と書候也公家なり
 目なりぬる三文字師也ぬる今人まて目とけはよきぬれ本
 正への花中く目と枝後乃果く右方乃木の枝なり三枝目
 花もくと書申しと云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 深抽氣志と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 四つり小わゆる文字と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 うんぐあることとの也

▲用之世美もく例
 病之法と二平と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 陰高定は高陽と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

				高實法 廉隅
一	二	三	四	
	一	二	三	

相呼乃千の隅より二十百と云はつたりて千坪乃
 下二倍也か小流よ一と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 隅小流よ一と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 百分と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 実なりと云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 小隅一と高小流なるを廉と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 と高小流二と高小流と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 乘てする事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 廉八二乃下隅八と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 一三乃と隅よき隅のこれ高よ如廉八
 三十二と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 法は如又二二乃曰歩は小如法三百六十歩
 と如法と今云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
 二六乃百七律二の八律拂く高十二と云ふ事

				商					商
I	II			寶	I		II	III	寶
		II	III	法		III			法
		III	IV	廉			I		廉
		IV	V	下			III		下
		V	VI	廉			IV		廉
		VI	VII	偶			V		偶
		VII	VIII				VI		
		VIII	IX				VII		
		IX	X				VIII		
		X	XI				IX		
		XI	XII				X		
		XII					XI		
							XII		

				高					高
I		II	III	寶	I		II	III	寶
				法					法
				廉					廉
				下					下
				廉					廉
				偶					偶

二百歩と如くと廉小加へ二百歩と如又い二百
 歩と高小加へと歩と如と法二加へ百歩
 と如又別小高と高と歩と如と十と如と中
 廉小加へ歩と如又い二百歩と高と歩と
 二百歩と如とと廉小加へ六百歩と如又別
 二百歩と高と歩と十と如と下廉小加へ
 四百歩と如と法二加へ下廉二加へ
 下廉二加へ下廉二加へ下廉二加へ下廉二
 加へ高小二万と如と高と歩と今三
 上の下廉小加へ四百歩と如と今三
 高二万と歩と上廉二万乃八十歩加へ
 又二二乃四百加へ六百八十歩と如又是
 今三高二万と歩と法二六の千二百歩
 加へ二万百歩加へ又二四乃八百加へ法
 六千二百六十八歩と如と今三高二万と歩

二百歩と如とと廉小加へ二百歩と如又い二百
 歩と高小加へと歩と如と法二加へ百歩
 と如又別小高と高と歩と如と十と如と中
 廉小加へ歩と如又い二百歩と高と歩と
 二百歩と如とと廉小加へ六百歩と如又別
 二百歩と高と歩と十と如と下廉小加へ
 四百歩と如と法二加へ下廉二加へ
 下廉二加へ下廉二加へ下廉二加へ下廉二
 加へ高小二万と如と高と歩と今三
 上の下廉小加へ四百歩と如と今三
 高二万と歩と上廉二万乃八十歩加へ
 又二二乃四百加へ六百八十歩と如又是
 今三高二万と歩と法二六の千二百歩
 加へ二万百歩加へ又二四乃八百加へ法
 六千二百六十八歩と如と今三高二万と歩

安んら二二乃二万好減又二二の六百好減又二二乃有本好減又二二乃
十六好減拂也
有か加四本の云乃五十本十六本
お考御お遠る引おる足

本書跋

此新編塵劫記 高田光由 関板

錦持以壽其傳自今不絶行于

世為善法指南者如合符節

後世勉勵勿忘

